



第5回
(2.18~2.22)

AJ科 宮川 治

補足資料1

- クラス図からのソースコードの機械的な導出
 - 一段目と三段目
 - publicを付ける
 - 二段目
 - privateを付ける、インスタンス変数名

補足資料2

- クラス図からのソースコードの機械的な導出(返却値)
 - 三段目
 - 特殊なメソッド:コンストラクタ
 - 返却値の型は無し
 - メソッド
 - 返却値の型がアッパーキャメルケース(大文字から始まる)の場合、初期値はnull
 - 返却値の型がキャメルケースの場合、初期値はその型による。例、intは0、booleanはfalse

補足資料3

- クラス図からのソースコードの機械的な導出(メソッド名と引数型)
 - 三段目(メソッドには丸括弧対: ()が必ず付く)
 - ゲッターメソッド(キャメルケース)
 - getインスタンス変数名
 - 引数無し
 - 返却値の型はインスタンス変数の型と同じ
 - セッターメソッド(キャメルケース)
 - setインスタンス変数名
 - 仮引数の型はインスタンス変数と同じ
 - 仮引数名はインスタンス変数名と同じ
 - 返却値の型はvoid

設問

- メソッド
 - ゲッター
 - セッター
 - コンストラクタ
 - 仮引数の型
 - 返却値の型
- インデントミスの弁別